

# JSSZ MEETING 2018

## 日本動物分類学会第54回大会案内 鹿児島大学

日本動物分類学会の大会を以下の要領で開催いたします。皆様ふるってご参加下さいますよう、よろしくお願いたします。

### ▲ 概要

期日：2018年6月9日（土）～10日（日）  
大会会場：鹿児島大学郡元キャンパス（理学部を予定）[鹿児島市郡元1-21-35]  
懇親会会場：同大学生協中央食堂

### ▲ スケジュール

研究発表の申込数等によりスケジュールを変更する可能性があります。最新スケジュールは日本動物分類学会ホームページをご参照いただくか、大会事務局までお問い合わせ下さい。

#### 6月9日（土）

10:00～12:00	評議員会
12:00～	受付
13:00～16:30	口頭発表
16:30～17:45	総会，記念写真撮影
18:00～21:00	懇親会

#### 6月10日（日）

9:00～10:00	受賞記念講演
10:00～12:00	口頭発表
12:00～13:00	昼食
13:00～14:00	ポスター発表
14:00～16:00	口頭発表

### ▲ 締め切りと参加費など

当日参加も受け付けますが、準備の都合上、出来る限り事前の申し込みをお願いいたします。参加費等は当日お支払い下さい。

参加申し込みならびに要旨提出締め切り：2018年5月11日（金）

#### 大会参加費

一般3,000円，学生1,000円

ただし、発表をしない学部学生の場合は無料とします。

#### 懇親会費

一般4,000円，学生1,000円

ただし、当日参加は参加人数によってお断りすることがあります。

#### お弁当（6月10日の昼食）

700円程度を予定。参加申し込みの際にご注文下さい。

大学周辺（東門方面）には徒歩圏内に多くの食事処・コンビニエンスストアがあります。なお、日曜日に構内の生協食堂、カフェテリアは営業していません。

### ▲ 大会会場へのアクセス

#### JR鹿児島中央駅から

駅東口の広場から市電2系統（郡元行き）へ乗り、唐湊下車。市電の進行方向左手に、郡元キャンパスの西門があり、そこから徒歩5分。

#### 鹿児島空港から

JR鹿児島中央駅まで、空港リムジンバスで45分程度。

#### 天文館周辺から

市電2系統（郡元行き）へ乗車後、唐湊下車。

お車でのお越しはご遠慮下さい。構内への駐車は出来ません。

詳しい位置は以下のリンクから地図をご覧ください。  
<http://www.sci.kagoshima-u.ac.jp/access.html>

宿泊の斡旋は行いません。鹿児島中央駅周辺や天文館の市電沿線にはホテルが多く、会場への移動も楽です。

### ▲ 参加・発表申し込み方法

参加及び発表をご希望の方は、以下の情報を大会事務局まで電子メール（使えない方は郵送）にてお送り下さい。受付の回答を差し上げます。万一、回答が来ない場合はご連絡をお願いします。

参加は学会員以外でも受け付けます。発表は2018年度会費納入済みの学会員に限ります。共同発表者に学会員以外を含んでも構いません。

氏名：

一般・学生の種別： 一般・学生

所属：

連絡先住所：

電話：

E-mailアドレス：

郵送による連絡： 要・不要

（経費節約にご協力いただくと助かります）

お弁当（6月10日）： 要・不要

懇親会： 参加・不参加

発表： する・しない

発表方法の希望： 口頭・ポスター

口頭発表のPCの種類： Win・Mac

口頭発表での動画使用予定： 有・無

講演者名（発表者の前に○印）：

演題：

### ▲ 発表

締め切りまでに講演要旨をお送り下さい。発表希望者の数により、事務局から発表方法（口頭・ポスター）の変更をお願いする場合があります。その際にご協力をお願いいたします。

#### 講演要旨作成要領

- ・別紙の講演要旨の見本をご覧ください、作成して下さい。
- ・タイトル、講演者（発表者の前に○印）とその所属、要旨本文の順として下さい。
- ・文字サイズは12ポイントとし、行間は1.15行として下さい。
- ・A4用紙（縦）1枚に収まるようにご準備下さい。

- ・ファイル形式はMicrosoftワードに統一して下さい（一太郎、PDFは不可）。
- ・英語発表の場合は、要旨も英文で構いません。
- ・大会事務局の方で書式を揃えるなど手を入れさせていただく場合があります。
- ・大会事務局まで電子メールにて、件名を「動物分類学会講演要旨-発表者のお名前」としてお送り下さい。受付の回答を差し上げます。万一、回答が来ない場合はご連絡をお願いします。

#### ポスター作成要領

A0サイズ（横841 mm × 縦1,189 mm）に収まる大きさと作成して下さい。

#### 口頭発表要領

発表時間は12分、質疑3分の計15分を予定しています。

### ▲ 大会実行委員会・事務局

#### 大会長

本村浩之（鹿児島大学）

#### 大会実行委員長

上野大輔（鹿児島大学）

#### 大会実行委員

山根正氣（鹿児島大学）

佐藤正典（鹿児島大学）

藤井琢磨（鹿児島大学）

田中正敦（鹿児島大学）

岩坪洗樹（鹿児島水圏生物博物館）

田代郷国（鹿児島大学）

#### 参加申し込み・問い合わせ先

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-35, 鹿児島大学

大学院理工学研究科

日本動物分類学会第54回大会事務局

上野大輔

Tel: 099-285-8167（直通）

E-mail: bunruitakai54@yahoo.co.jp

## 南日本沿岸域で発見されたヘカブイウミチョウ（鰓尾亜綱チョウ目チョウ科）

○上野大輔<sup>1</sup>・宮崎 亘<sup>2</sup>・長澤和也<sup>3</sup>

<sup>1</sup>鹿児島大学大学院理工学研究科；<sup>2</sup>いおワールドかごしま水族館；<sup>3</sup>広島大学大学院生物圏科学研究科

鰓尾亜綱は、世界中の海域や陸水域に広く分布する小型甲殻類の1群であり、魚類の外部寄生虫である。本亜綱は、チョウ目チョウ科に属する4属約175種のみからなり、わが国からはチョウ属に属する9種（淡水産種4種および海産種5種）が発見されている。また、九州地方からのチョウ属の記録は少なく、大分県からのウミチョウ、マツイウミチョウそして未同定の1種が報告されるに留まり、琉球列島からの報告は皆無であった。このような状況の中、鹿児島湾沿岸産のヨメヒメジ（スズキ目ヒメジ科）と、沖縄島周辺海域で採集されたホウライヒメジ（スズキ目ヒメジ科）およびミナミヒメハゼ（スズキ目ハゼ科）の体表から、チョウ属の1種が採集された。本種は、日本産の同属9種とは、第1触角の1節目基部付近に大きな棘を1本のみ有すること、口管基部付近に複数の小鱗を有することで容易に区別することができる。また本種は、大顎の先端部の両側に鋸刃を有すること、第1小顎には約60の支条があり、各々が8-11の節からなること、背面に4本の黒色縦帯がある点などが同属他種いずれとも異なることから、未記載種であると考えられた。当初は本種を新種として記載し、灰に塗れたような体色と色斑から、灰かぶり姫シンデレラに因んだ種小名を与えることを考えた。しかし、更なる形態比較の結果、本種はインド南部沿岸からのみ記録がある *Argulus quadristriatus* Devaraj and Ameer Hamsa, 1977 であるという結論に達した。誤同定の原因として *A. quadristriatus* の原記載は、奇形化した遊泳脚をもつ雌成体1個体のみに基づいていること、大顎の形態が誤って記載された可能性が高いこと、雄の遊泳脚等の重要な形態情報が欠落していたことなどが挙げられる。結局本種は日本初記録種として報告され、標準和名には、海産のチョウ類で、体色と色斑が鹿児島湾を臨む桜島からの降灰を被った様子を想像させることから、灰かぶりを意味する鹿児島県の方言に因んだ、ヘカブイウミチョウが提唱された。

※ 本講演要旨は例であり、架空の内容です。